

「ビルメンITの裏側」

人手不足等の解決策としてDXやITが着目されています。本コラムではあえて「IT導入失敗の理由」を挙げる事で、皆様のIT利用の成功に貢献できればと考えております。

連載 ⑬

株式会社 安井ファシリテーターズ

ビジネス創造部 部長 伊藤 士

情報処理技術者ITストラテジスト



IT導入したが業務定着していない現場に数多く遭遇してきた経験から、建築業界(特に維持保全)向け情報管理改善サービス「パノラマmemo」の事業を立ち上げる。ビルメンテナンス業界からの相談は100件を超える。

す。

このようなルー
ル化しやすい業務
は、1990年代に
一気にシステム化さ
れITは注目を浴び
ました。

では今はどうか
と言うと…単純業務
はシステム化し尽く
され、多少複雑な業
務も便利なソフトが
カバーしてくれた結
果、残ったのはルー
ルが無い・人により
判断が異なる・環境
に応じ対応が複雑に
変化する…そんな厄
介な業務ばかりで
す。

昔のIT担当者
はソフト開発・操作
ができれば活躍でき
たのに、今はどんな
ソフトを使えばよい
かが分からないいう
え、下手にIT化す
ると生産性が下がる
始末。昔とは別世界
で、IT知識だけで
は歯が立たない環境
です。

根本対応は難し
いので今回は「簡単
に実行できる対策」
を伝えます。

あれば便利機能を紹
介する。これを1年
続けられ、IT担当
者に対する社内の信
頼が上がるうえ、現
場業務の実態把握も
進む…つまりDXに
必要な地盤固めが出
来るのです。

IT部門は、呼
ばれるまで現場に行
かない人が多い気が
します。IT知識だ
けでは通用しない昨
今、IT部門が現場
に行く行かないか?
の違いだけで社内の
IT活用度合は激変
します。

最新技術や大規
模なIT業務改善
は、少なくとも小さ
な成功で社内の信頼
を積み上げ、かつ社
内の実情を知った後
の話だと思えます。

社内IT部門が活躍するための

とても簡単な動き方

駅で電車のドア
が開くと…まず降り
る人が優先。その後
に乗る人たちが動き
出す。皆がルールを
守っているから満員
電車でも乗降がス
ムーズですね。ただ

国によっては乗る人
と降りる人がぶつか
り合いながら乗降し
ていて…とても非効
率ですが、国民性な
ど様々な要因がある
のでしょう。皆が

電車の乗降のように
生産性は一気に高
まる。例えばバケツ
リレーもその類いで
す。

とはいえ実際に
は、二人三脚でコケ
る、伝言ゲームで言
うでしょう。実はレ

葉がスレる、行列で
順番抜かす…そこに
はスキル・モラル・
体格・判断基準など
の違いが多く絡みま
す。逆にこれが洗練
されると、サーカス
やオリンピック団体
競技のような凄い連
携プレーが可能で
す。

では職場ではど
うでしょう。実はレ

ジのおつり計算・交
通費清算・営業マン
の売上管理などは
ルール化しやすいで
す。数字はルール(計
算式)と答えが明確
だし、お金は税理士
や国がキッチリ最終
チェックするからで
す。また休暇申請や
機材貸出の管理のよ
うな単純作業もルー
ル徹底しやすいで

守っているから満員
電車でも乗降がス
ムーズですね。ただ

国によっては乗る人
と降りる人がぶつか
り合いながら乗降し
ていて…とても非効
率ですが、国民性な
ど様々な要因がある
のでしょう。皆が

電車の乗降のように
生産性は一気に高
まる。例えばバケツ
リレーもその類いで
す。

とはいえ実際に
は、二人三脚でコケ
る、伝言ゲームで言
うでしょう。実はレ

では職場ではど
うでしょう。実はレ

多多くの社員に声
をかけ、チャンスが

多多くの社員に声
をかけ、チャンスが